学校だより

令和8年度 第6号
令和8年9月1日
東京都立小金井特別支援学校
校長　石田 節恵





２学期の始まりにあたり

校長　石田　節恵

本日から２学期が始まりました。登校する児童・生徒と「おはようございます」と挨拶を交わしながら、久しぶりの再会を大変嬉しく感じております。児童・生徒の笑顔と元気な姿が、学校を活気付けてくれることを期待しています。２学期の学習活動や行事に向けて、友だちと協力し互いを思いやる気持ちを育むことを大切に、御家庭と連携を図りながら丁寧に進めてまいります。

本日の始業式では、２学期の目標と予定している主な行事を確認しました。２学期の目標においては、「挨拶をしよう」「元気に過ごそう」「友達と仲良くしよう」の１学期からの目標を継続し、「自分の好きなことを増やしながら自信をつけていこう」そして、少しずつ苦手なことに挑戦するために「勇気」をもとうという話をしました。また、２学期にある行事や今年度初めて行うフェスティバルについても確認しました。行事計画に基づき、安全第一に児童・生徒が日頃の学習活動を発表できる機会となるよう、検討しながら準備してまいります。

７月 21 日から７月 30 日までと８月 24 日から 27 日までを中心に、外部専門員等を講師に教員対象に夏季研修会を実施しました。さらに、校外における研修会や見学会へ参加するなど、目の前の児童・生徒への支援や学習指導のさらなる充実に向けて、研修を積み重ねながら、今後の教育活動に向けて準備してきました。２学期もより一層、教職員一同力を合わせてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



防災対策の再確認と備えを

７月 28 日（木）に起きた熊本地震は、マグニチュード７．１、最大震度７を観測しました。被災により多くの方が度重なる余震に怯え、住宅の倒壊や土砂災害などの危険がある状況の中、今なお、不自由な生活を送っておられます。さらに、各地での豪雨による水害も起きております。1 日も早い復旧を祈るとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

９月１日本日は防災の日でもあります。1923 年（大正 12 年）９月１日 11 時 58 分に東京都及び神奈川県を中心とした関東地方に大きな地震（震度６、当時の震度の最大階級）が発生しました。東京都は大きな被害があり、多くの尊い命が失われてしまいました。この「関東大震災」があった日を「防災の日」とし、過去の災害を認識し、防災対策の情報を意識して生活することが大切ではないかと思っています。地震はいつ、どこで起こるかわかりません。そして、何年経過しても、大地震の恐ろしさは変わりません。

本校では児童・生徒へ「命を守る」ことを最重要課題として進めております。毎月の避難訓練と中学部１年生における防災訓練でも、１番大事なことは「自助」であり、災害が起きたらまず、自分の身を守ることが重要であることを伝えています。頭を守るために机の下にもぐること、教員の指示に従って「お・か・し・も」を約束しながら、校庭等に避難するよう避難訓練を積み重ねています。災害時には、消防署などの公的機関の助けが必要となりますが、消防隊はすぐには来てはくれません。その間、他者と協力ながら対処する「共助」という視点も重要になります。各御家庭におきまして、今一度、災害対策を考えていただき確認をお願いします。御家族の一人一人が「自助」の意識をもって備えていただきたく存じます。